

いわき民報

電話復活 二五五番 加藤武久

電話復活 二五五番 加藤武久

鮭魚期を控へ

鮭魚期を控へての鮭は豊漁を見込まれて居るが、類刺出荷懸念は問題に要する鮭で警城各八日小名濱港漁業組合に業額とも自給製鮭で貯蓄が多いと関係者等網羅して開催、種々對策製鮭所が補助金停止と送電中策を練つた、昨年は統制の枠も止に及ぼされた影響は甚大なるはづれないのに鮮魚の自由取引もがかり懸念を裏切つて鮭不が許された、め統制違反者が續足到来を期たすのではないかと出、無統制状態になつたが、今も見られ各方面から注目の的と年は特に中央水産業會側では無なつてゐる、尙石城地方事務所統制出荷を嚴重に取締る一方、では九日午前十時から植田町役價格の統一をはかつて對處する爲にこれ等関係業者の懇談會を方針で歴然とした統制出荷を行開き、自給製鮭對策を協議するふことに決した、なほ今年の鮭ことにまつた

頼刺の價格統制強化

八日小名濱港で各関係者懇談 用益問題も九日植田で協議

最高は七合五勺

炭礦の加配米量決定さる 五日の職種別配給協議會にかけり、配給量は労働條件の輕重に依つた炭礦向主食の配給基準量依つて均等化される事になつたは六日の縣協議で愈々本極りと尙常警炭礦の如く氣温の高い處なり一日から實施される

水道料金倍額

八日の市會で決定さる 八日の市會で既報の如く水道使用料が引上げられた、新料金は普通使用料が七圓二十錢で世帯平均の五人家族とすると一月一圓四十四錢、一日四錢八厘、一圓四十四錢、一日四錢八厘、増す毎に三十六錢(十八錢)浴槽一個(一月一ヶ月三立方方米突進一圓四錢(五十二錢)

湯本の野球

湯本町大隅電氣商會主催本社湯本支局後援の湯本、入山、警崎、長倉の四校對抗少年野球大會は九日午前十時から湯本町警崎グラウンド湯本校で開催さる、向十日の日は湯本郵便局主催の實業野球大會が午前八時から行はれるが参加チーム左郵便局、湯本町役場、湯本

三港 秋刀魚水揚げ

本格的秋刀魚漁期に入つたが江名港所屬清正丸は八日朝第三回日として七千石を、又中之作港鈴木博松氏所有船は二千石を、一方小名濱港へは茨城縣の船が一萬石を七日朝水揚げしたので各港は久方振りに秋刀魚景氣に活況を呈してゐる

平市内の米 收量調査正

市内の米の收量調査は去月七日湯本町吉田平氏長男正夫君は食糧對策委員會の調査で一應決定したが其の後、地の増加無地の確定等に依り七日更に午後二時から最後の食糧對策委員會を招集、食糧對策委員會に別けて反收の確證と相當の適正を期した、皆無地は一町九反歩を占めたが割算は一町八百五十石は完済出来る迄とある

湯本の霊

湯本町上朝崎崎幸一吉田正夫兩侯外一十柱の英靈は八日午前十一時五分の列車で歸還した

吉田正夫君

湯本町吉田平氏長男正夫君は食糧對策委員會の調査で一應決定したが其の後、地の増加無地の確定等に依り七日更に午後二時から最後の食糧對策委員會を招集、食糧對策委員會に別けて反收の確證と相當の適正を期した、皆無地は一町九反歩を占めたが割算は一町八百五十石は完済出来る迄とある

無償で毛布 布團類配給

無償で毛布 布團類配給 一貫で引揚げた人達に暖い冬をとおしては對策を練つてゐたが生活保護法適用者に對して毛布及び布團等類を優先的に無償で配給することに決定した、郡下の該當者は千七百五十名、郡下の五千三百三十名で一人當り一枚乃至一枚の割合で無償で配給されるが、寒さを迎へて引揚者たちは當局の積極的運動を望んでゐる

遺族救助に 授産場

湯本町の遺族中には生活に困窮するものがある、十日午後一時から養老會に遺族生活状態懇談會を開催するが扶助に依り今後の生活方針の確立を期するためと授産場を設置等が計劃されてゐる

四校對抗大會 及實業團對抗

湯本町大隅電氣商會主催本社湯本支局後援の湯本、入山、警崎、長倉の四校對抗少年野球大會は九日午前十時から湯本町警崎グラウンド湯本校で開催さる、向十日の日は湯本郵便局主催の實業野球大會が午前八時から行はれるが参加チーム左郵便局、湯本町役場、湯本

坑木増産協議

石炭増産の隘路の、坑木の不足を解消すべく地、務所林産課では平野村と、郡内各方協力を與ふべし

言すきわい

湯本町の遺族會も自力更正に奮起して全町民も心から協力を與ふべし

かサブランカ

明日の日曜日! 湯本町吉田平氏長男正夫君は食糧對策委員會の調査で一應決定したが其の後、地の増加無地の確定等に依り七日更に午後二時から最後の食糧對策委員會を招集、食糧對策委員會に別けて反收の確證と相當の適正を期した、皆無地は一町九反歩を占めたが割算は一町八百五十石は完済出来る迄とある

長男市郎儀

昭和二十年六月十日靜岡縣下田附近にて戦死致し候處今般遺骨歸還し來る十一月十日平市長崎町性源寺に於て午後二時自宅出棺三時送佛式にて告別式舉行仕候間此致御通知申上候

父 吉田 恭平

中支にて戦病死致し候條致に生前の御厚誼を拜謝し此致御通知申上候

父 水野 晃

昭和二十一年十一月八日 平市紺屋町五九

父 榎田 榮太郎

母ミツ、妻トキ、長女喜美子、長男祐正、二女惠美子、二男翼弘、三女佳子儀

父 根本 貞次郎

昭和二十一年十一月七日 平市南町五二

